

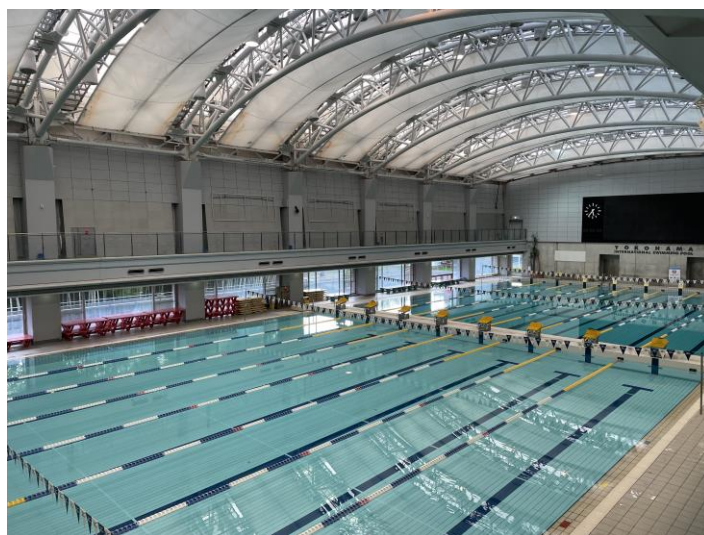
# BASEL



- 発行責任者: 横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者: 広報担当理事
- 連絡先 : 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内

Fax 045(475)2053

<http://basel-y.sakura.ne.jp>



横浜国際プール

## 会長挨拶

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会  
会長 岩澤 英喜

令和4年度の総会は、会員の皆さまのご理解ご協力をいただき、集会形式で開催することができました。各事案も、直接会員の皆さまからご意見を伺いながら進めることができ、審議が深まりました。ありがとうございました。

昨年度は、横浜ラポール所管行事への参加に加えて、初級障がい者スポーツ指導員養成講座の講師、各種団体からパラスポーツイベントの運営補助依頼に応えての参加、横浜市パラスポーツ担当者会議への参加など、活動範囲が広がった一年だったと思います。

今年度も、さまざまな団体からすでにパラスポーツイベントの運営補助などの依頼がきていることから、活動が多岐にわたると予想されます。よって、会員の皆さまにご協力をお願いすることが増えてくると思われまますので、早く正確な情報をお届けできる仕組みを整備するように努めてまいります。

まだまだ新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない状況は続いておりますが、会員の皆さまにおかれましては、まず、ご自分の体調を整えていただいた上で、パラスポーツの発展にご尽力をいただければ幸いです。

# 研修会報告

開催日時2022年6月19日(日)13時～14時

研修担当 宮城 信隆

今回の研修会は、大会議室定員の半分 50 名を上限に対面で開催することができました。

研修内容は『障がい者スポーツに必要な介助法』として理学療法士の萩原氏から、講義とリフティング手技の 2 部制で教えて頂きました。



講義では、脊髄損傷の理解としてT5～8 胸髄神経麻痺の方(主にT6)が、どのような運動麻痺であるかの説明を受け、腹筋が効かず車いすでも不安定である事を説明して頂きました。その状況を踏まえて、実技では、椅子から車いすへのリフティング方法(ボディ対応)を 5 名 1 組に分かれて実践し、後ろから抱える介助者(身長が高い方のほうが望ましい)は声掛けをして対象者に密着する事で安定し力が入りやすい事、足側を持つ介助者は姿勢を低く保ち足を広げ安定した状態で対応する事で自身の腰に負担がかからない様にする、など、基本的なことを教えていただきました。参加者の多くは「ふむふむ!」「こーすると楽に持ち上がる!!」など、対面での講習会を開催したことは本当に良かったと感じました。

今回、新たな取り組みとして QR コードからアンケートを送信してもらう事を始めました。宜しくお願いします。

## 参加者の感想(アンケートより抜粋)

○講師の方のお話はわかり易く理解できました。実技も少し不安でしたが、やってみると思ったより楽にでき、他の方も意見交換しながら楽しくできました。これから、車椅子利用者の方々に接する自信が少しつきました。

○講師の先生も質問にすぐ対応してくださり、体験を通して学ばせて頂いたのはとても良かったと思います。ただ時間も短く内容的には薄く感じてしまいました。

○車いすの介助法が実体験できたことで、いろいろな発見があった。介助される側の気持ちにも立つこと、リフティングすらできない自分の非力さ、などなど。日常生活でよく目にする作業の大変さがあらためて理解できた。

○実技のある講演会は実際の場面での対応がイメージでき、とても役立ちました。体格によっては介助が厳しいという実体験は貴重でした。普段は視覚障害スポーツに取り組んでいるので、今回の研修は新たなことを学べてよかったです。

○身体の使い方が分かりやすく、腰痛にもなりませんでした。

○体験型研修は体を使って行うので、いざと言う時に、役立つと思います。移動のコツとかも、指導して頂き有意義な時間でした。



---

## 第27回ハマピック個人競技を終えて

---

横浜ラポールスポーツ課 利根川 俊介

今年度も新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、4月から約1ヶ月にわたりハマピック個人 7 競技が実施されました。

一昨年度は中止、昨年度は無観客開催、そして、今年度は3年ぶりに有観客での開催となりました。徐々にではありますが、本来のハマピックの様子に戻ってきています。

今年度のトピックスは、個人の2競技が、これまでと異なる会場で開催されたことです。

- 水泳競技……………横浜ラポールプール → 横浜国際プール
- ボウリング競技……町田ボウリングセンター → 横浜ハマボール

横浜国際プールは、日本国内最高峰のパラスポーツ大会であるジャパンパラ競技大会や国際大会が行われる会場でもあります。ハマピック大会新記録が多数生まれました。

また、ハマボールはアクセスも良く、レーン数も多く、そしてハマボールスタッフの方々のご協力もあり、スムーズな大会運営ができました。

全競技を通して、これまでのようなトレーニングや大会への出場ができない状況下でも“競技に参加できる喜び”や、“日頃の成果を生で見ることができる喜び”というものを感じることができた大会でした。

最後に、大会に関わる全ての皆さまのご協力なしには、今年度のハマピックの開催は実現しませんでした。大会運営にご尽力いただいた、各競技協会、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会、補助役員、手話通訳の皆さま、そして最高のパフォーマンスを見せてくれた選手とその関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

---

## 会員の活動・体験コーナー

---

【1月30日(日)スポーツフェスタ「ボウリングの日」 於;横浜ラポール】

会員 小林 一男

〈午前の部〉

私は、BASEL のボランティアとして、午前の部のお手伝いをしました。午前の部参加者は7名。1レーンは頼もしげな女性ボウラー。ストライク後やスペア後の誇らしげな笑顔が印象的でした。2レーン・3レーンは親子チームで1投ごとに声を掛け合い、和気あいあいとした雰囲気でした。4レーンはマイペースで黙々と投げ続ける女性ボウラー。その姿は、哲学者を思わせます。

2 ゲームの競技を終えて、表彰式です。受け取った賞状を見せるために、ご両親に駆け寄る姿。入賞者一覧が表示されたモニターを背に、記念写真を撮る姿。そして、入賞には届かなかっただけ、満喫して帰り支度をする姿。この場に立ち合えたことに感謝です。



### 〈午後の部〉

私は、今回初めて「ボウリングの日」にボランティアとして午後の部に参加しました。参加者は、小学生から大人の方まで幅広く、今回初めて参加した方が非常に多くいたので、嬉しかったです。スペアやストライクが出た時には、参加者もボランティアも一緒になって拍手をし、大いに盛り上がりました。ストライクが出ると嬉しそうな様子の参加者や、あと数本でスペア、ストライクだった時には、「惜しい！」と声に出したり、悔しい表情を浮かべたりする参加者もいました。私も気付いたら、自分が投げているかのように自然と声が出ているときがあり、ストライクが出た時には一緒に喜び合い、私も楽しかったです。

片麻痺の方や知的障害、聴覚障害などの方がいましたが、ボウリングは障害があっても工夫すればできるスポーツであり、健常者とも一緒に楽しむことができるので、これからもっと参加者が増えることを願っています。

### 【3月26日(土)スポーツフェスタ「サッカーの日」 於;谷本公園球技場】

会員 藤郷 栄康



コロナ禍の影響を受けて一昨年は中止、昨年はずか 3 チームの参加でしたが、今年は3年ぶりに従来規模に近い 8 チームが参加、交流を主たる目的として順位決定はせず、4 チームずつに分かれて15分制のリーグ戦が設定されました。

ボールタッチ回数が増えるようにフットサルコートを使用し、誰もが得点の機会を味わえるようにゴールキーパーなしの 5 名での対戦でしたが、メンバー多数のチームは頻繁に選手交代を行いながら、紳士的な接触プレーでの激しいボール奪取の応酬で、皆で声を掛け合いながらひたむきにゴールの瞬間の喜びと爽快感を追い求めた潑刺プレーが次々と展開されました。

朝から薄曇りのままの肌寒い一日でしたが、横浜ラポールも活動に参画している知的障害者サッカーチーム「横浜F・マリノスフウーロ」に所属する多数の若者の積極的サポートも得て円滑に進行し、各チームとも 3 試合の交流を元気一杯に楽しんでくれました。

### 【4月3日(日)ハマピック「アーチェリー競技」 於;富岡総合公園アーチェリー場】

会員 和田 攻

桜の名所・富岡公園で、春爛漫の中、第 27 回ハマピックの最初の競技であるアーチェリーが行われました。BASELに登録したものの、コロナで2年間参加できなかったボランティア。初参加で張り切っていたアーチェリー競技でした。

前日の予報では夕方から雨。しかし、起きてみると朝から雨(泣)。しかも気温は 10 度と冬に逆戻り。選手もスタッフも凍えながらの大会となりました。そんな中でも、アーチェリー協会・ラポール指導員・BASEL の方々のご尽力により、良い雰囲気で大会を行う事が出来ました。初参加であまりお役には立てませんでしたが、これでやっと BASEL の一員になれた気がしました。今後はもっとお役に立とうと思いますので皆さま宜しくお願いします。



## 【4月9日(土)ハマピック「サウンドテーブルテニス競技(STT)」於;横浜ラポール】

会員 中島 征子



陽春を迎えた4月9日。横浜ラポールは一部休館していたアリーナがリニューアルされ、床と新しい卓球台が置かれた会場で、第27回ハマピックSTT競技がスタートしました。

バセルから4人の会員がボランティアとして参加させていただきました。男子の部・女子の部とそれぞれ2名ずつに分かれ、私は女子選手の担当をしました。選手の誘導や、プレー中のボール拾いが主な活動ですが、審判が「プレー」を宣言すると物音をたてる事は禁止のため会場は静寂となり緊張が走ります。私達はボールを拾うのにも音が出ないように集中し選手と一緒にプレーしている気持ちになりました。

選手はボールを拾うのにも音が出ないように集中し選手と一緒にプレーしている気持ちになりました。

選手の皆さんは、コロナ禍で練習の場を失い大変な日々を過ごして来たと思います。全国障害者スポーツ大会横浜代表選手に選出された方々は、より一層の練習に取り組まれることでしょう。私も横浜から熱い応援をしたいと今から楽しみにしています。

## 【4月10日(日)ハマピック「卓球競技」於;横浜ラポール】

会員 久岡 雄一

当日は、久しぶりの一日を通してのボランティアでした。長い一日になるだろうと思い参加しましたが時間の流れが早く、あっという間に過ぎていきました。選手の皆さんも楽しそうにそして一所懸命に試合に取り組んでいました。いつもより接戦が多く、自分もいつの間にか夢中になっていました。



久々の一日ボランティアは、とても楽しく、そして充実感がありました。参加された選手、スタッフ、横浜ラポールの皆さまに感謝の気持ちで一杯になりました。

このような一日しっかりできる大会が、もっともっと増えていくことを願っています。ハマピック卓球に参加してとてもうれしく充実した日が送れたことに感謝しています。ありがとうございました。

## 【4月17日(日)ハマピック「水泳競技」於;横浜国際プール】

会員 伊左治 元



令和4年2月に初級障がい者スポーツ指導員の講座を修了後、都筑区の横浜国際プールで開催されたハマピック水泳にはじめてBASELのスタッフとして参加しました。担当は男性用更衣室での誘導でした。

例年であれば港北区の横浜ラポールで開催されていたので戸惑っている選手も少なくなかったものの、新記録を多く見ることができ、無事に終了することができました。

手が空いている時間に競技をプールサイドから見ることができましたが、中には2020東京パラリンピックに出場した選手もあり、会場のプールサイドから泳いでいる選手を見ることは滅多にないので、とても貴重な経験となりました。ハマピックの他競技でも、ボランティアとして参加したいと思います。

## 【4月24日(日)ハマピック「ボッチャ競技」 於;横浜ラポール】

会員 鈴木 春奈

私は東京パラリンピックを見てパラスポーツに興味を持ちました。そして、ボランティアに参加する機会が増えました。

ボッチャのボランティアに参加し、ルールを詳しく知ることができました。さらに選手の投球を生で見て、コントロールや白熱した試合に凄く興奮しました。

バセルの方々はとても優しく、お話すると楽しかったです。

今後も定期的に参加していきたいです。よろしくお願いいたします。



## 【4月24日(日)ハマピック「ボウリング競技」 於;横浜ハマボール】

会員 竹下 いづみ



令和4年2月に障がい者スポーツ指導者研修(初級)を受講しました。BASEL 登録後初の活動は4月24日「ハマピックボウリング」でした。会場がラポールではなかったのも、車いすユーザーの私が大会のお手伝いができるのか不安でしたがラポール職員、BASEL の方々に助けていただきました。

続々と集合する選手の皆さんが、試合時間が近づくと緊張感に包まれていく様子が分かりました。私の担当は1レーン～6レーンの個人のスコア合計を速報へ記入です。記入ミスは許されないので緊張しました。終盤はデッドヒ

ートやミラクルプレイを応援することができて感動しました。

今回、初めて「横浜ハマボール」で開催されましたが、大きなトラブルもなく無事に大会が終了した事にホッとしています。次回の活動は「陸上競技」です。諸先輩方ご指導していただきがんばります。

## 【4月29日(金・祝)ハマピック「フライングディスク競技」 於;新横浜公園投てき練習場】

会員 湯浅 鉄男

大型連休初日のこの日はどんより曇り空。みんな「競技が終わるまで何とか降らないでほしい」という思いだ。会場の新横浜公園投てき練習場では広いグラウンドに競技会場 2 サイトと練習場が設営され、外側にはテントが 4 張。審判をする「かながわ障がい者フライングディスク協会」はベテランばかりなので、バセルのボランティアも安心して動ける。

開会式の後、10時10分に競技がスタート。最初はアキュラシー。参加した選手はディスクを投げる時は真剣そのもの。アキュラシーの丸いゴールにディスクが入るたびに拍手が広がる。ディスタンスでは選手がディスクを遠くに投げると、驚き交じりの歓声が上がっていた。屋前にぽつぽつ降り始めた雨は、次第に本降りになった。選手には気の毒な天気。それでも最後まで熱心にディスクを投げ続けた。雨に降られたけれど、楽しい大会だった。選手の皆さん全員「ナイススロー」でした。



## 【5月8日(日)ハマピック「陸上競技」於;三ツ沢公園陸上競技場】

会員 木阪 悠里菜



2月に初級障がい者スポーツ指導員の講座を受講してから2度目のボランティア活動でした。一日を通して会員の皆さんや、一緒に補助員をした盲学校の教員の方、選手の方々とお話することができ、貴重な経験になりました。中学・高校で陸上競技部に所属していましたが、初めて目にする障害者スポーツ独自の種目が数多くあり、とても面白かったです。

様々な障害を持つ選手に対してどのようにすればスムーズに競技が進められるか考え、視覚障害の方には投擲(とうてき)物を渡す際に「1 球目渡します」などの声かけ、知的障害の方には投擲が可能になったことを示す白旗が挙がってから投擲物を渡しました。ボランティアとして参加した自分自身も楽しかったですが、何より参加した選手が笑顔で楽しそうにしていたのが印象的でした。

## 【5月22日(日)ふれあいスポーツ大会 於;横浜ラポール】

会員 田口 ゆう子

3年ぶりの実施とあり、主催の「横浜市心身障害児者を守る会連盟」の皆さんもドキドキしていたそうです。

大会は人気のある種目が趣向を凝らして実施され、プログラムが進むにつれて皆さんの熱気も高まります。私たち BASEL のほか、初対面のボランティアさんが多くても、阿吽の呼吸と参加者の期待でいつの間にか打ち解け、盛り上がりました。イマドキのスタイルを採り入れた《除菌ラケットでGO!》では大きな笑いも起こりました。ボランティアが主体の競技も用意されていましたが、この大会は誰でも飛び入り参加可能なので、見るだけなんてもったいないと思い、参加者に声をかけると、「やりたい!」「燃える!」と熱い答えが返ってきました。



ふれあいリレーでは「車いすは押して走っちゃだめだよなあ」と思う私もこの日は万全のサポート体制が整っていたので、ちょっとだけ加速。選手の「おおー!」という声が忘れられません。BASEL の先輩方に助けられ、ただただ楽しい一日でした。

横浜ラポール  
からのお知らせ

## ラポールの祭典 2022 の開催について

いよいよ、ラポールの祭典が9月25日(日)に開催されます!

今年は、横浜ラポール 30 周年という記念すべき年。今回のテーマは、「みんな笑顔に『感謝・つながり・夢』」ということで利用者と共に、30年を振り返り、未来を展望しようと準備を進めています。職員一同、BASEL 会員の皆さまと共に、各種スポーツ体験企画などを通して、来場者の方々に「楽しかった」、「来てよかった」と思ってもらえるイベントを実施したいと考えています。何卒、ご協力の程、宜しくお願い致します。

### ※「祭典ボランティアの追加募集について」

既にお申し込みいただいている方他に、若干名追加募集を行います。

ご協力いただける方は、8月20日(土)までに下記へご連絡ください。

▶問合せ先:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

担当:福田、寺川、絹村

TEL045-475-2050 FAX045-475-2053

## お知らせコーナー

### 【 総会報告 】

2022年6月19日(日)横浜ラポール大会議室に於いて開催され、全ての議案が承認され無事終了いたしました。マスク装着、ソーシャルディスタンス保持などの条件の中、ご出席いただいた会員の皆様、ありがとうございました。詳細につきましては、同封資料をご参照下さい。



### 【 2022年度第2回研修会予定 】

11月6日(日)後期研修会を予定しています。研修内容等詳細は、後日改めてお知らせします。コロナの影響により開催ができるか分かりませんが、対面での実施を予定しています。是非、日程を調整してご参加ください。



### 【 ボランティア募集 】

2022年度の後期ボランティア募集は8月31日(水)締め切りになります。ご希望の方は、同封のボランティア募集をご提出ください。

### 【 メールアドレス登録の件 】

会員の皆様に横浜ラポールや地域から寄せられるボランティアの依頼、情報などをメールで配信しています。情報配信を希望される方は QR コードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、下記のアドレスよりお名前、会員番号を入力し返信してください。既に登録済の方は、必要はありません。

Mail([basel@basel-y.sakura.ne.jp](mailto:basel@basel-y.sakura.ne.jp))



【会員数 2022年6月30日現在 452 名】